



# 自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

## 防衛医科大学校（看護学科） オープンキャンパスに参加して

草苺 星那

今回のオープンキャンパスでは、学校での生活の流れや勤務内容を知ることができ、これからの進路を検討する良い機会となりました。

今回のオープンキャンパスでは、学校での生活の流れや勤務内容を知ることができ、これからの進路を検討する良い機会となりました。

私は、令和7年6月21日（土）に防衛医科大学看護学科のオープンキャンパスに参加しました。私の両親は陸上自衛官です。幼い頃から、駐屯地のイベントや仕事へ一緒に行くことがあり、自衛隊を身近に感じていました。小学生の頃から、人を助ける仕事に就きたいと思っており、今回、母と同じ衛生科の仕事について知りたくなり、このオープンキャンパスに参加を希望しました。オープンキャンパスでは、校内での生活、日々の訓練の様子などを見ることができました。その中でも特に楽しかったことは、体験実習です。教官の方に指導してもらいながら母の血圧を測定しました。学生の方には患者の術後看護の仕方について説明を受け、実際に人形を使って聴診器を当てて観察し、肺の正常な音と術後の肺の音の違いを比べることができました。その際、最新の聴診器ではなく、アナログな聴診器を使用していて、何故便利な最新のものを使わないのか疑問を抱きました。質問してみると教官の方が「救助の場で、便利な物がある場にならないような状況でも対応できるようにするためです。」と教えてくださいました。この回答を聞いて、他大学の看護学部よりも緊急時の看護を強く意識して教育を行っているのだなと思いました。また、学生の方々が優しく丁寧に対応してくれ、挨拶もハキハキとしていて、制服を着ていることから、自衛隊の大学というところを感じることができました。



## 待機操縦士による航空学生説明会 「航空学生の周知」

2等海曹 山口 良明

自衛隊群馬地方協力本部（本部長 防衛事務官 小久保勝之）は、7月15日（火）私立共愛学園高等学校において、航空学生説明会を開催しました。

説明会では航空教育集団司令部（浜松）に所属する飛行幹部候補生、生越曹長の支援を受け、自身の経験を基に学生生活、航空学生採用試験の概要、キャリアプラン、処遇及び福利厚生について、高校1年生から3年生の生徒6名に対して、説明しました。

質疑タイムでは、「パイロットになりたいと思ったきっかけは何ですか?」、「高校生の時、パイロットを目指すために、普段からどのような事に気をかけていましたか?」、「筋肉があつてかっこいい自衛官はいますか?」等、様々な質問がありました。生越曹長は、笑いを交えながら分かりやすく丁寧に回答し、生徒達の理解を充分深めさせることが出来ました。

自衛隊群馬地方協力本部は、今後も各種説明会を通じて自衛隊の魅力伝え、一人でも多くの募集対象者に興味を持って頂けるように努めて参ります。

